

平成 2 5 年度

第 1 回別海町図書館協議会議案

日 時 平成 2 5 年 5 月 3 0 日 (木)  
午前 1 0 時 3 0 分  
場 所 別海町図書館 2 階視聴覚室

# 会 議 次 第

## ◎辞令交付

### 1. 開 会

### 2. 教育長挨拶

- ・委員には、図書館事業の支援・指導をお願いしたい。
- ・図書館の専門分野だけでなく、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校等との連携も必要。全体が見える形で業務にあたってほしい。
- ・子どもの学力について、北海道は全国で下位、道内でも根室館内はワースト1・2という結果だが、別海町については全道平均・教科によっては全国平均を超えている学校もある。子どもたちの基礎学力の向上は、「読み書き」が基本となるので図書館と連携しさらなる向上をめざしてほしい。

### 3. 委員紹介

大橋勝彦委員、大森伸委員、弼川敏弘委員、島崎美智子委員、今井真人委員  
各自自己紹介(委員全員出席)

### 4. 職員紹介

佐藤館長、堺主査、吉田主任、登囑託事務員、金谷囑託事務員、水本臨時(自己紹介)

### 5. 委員長挨拶

\*図書館協議会運営規則に則り委員長・副委員長を選任。

○委員長・・・大橋委員

○副委員長・・・大森委員

(委員長挨拶)

日々忙しくあまり図書館へ足を運ぶ時間がないが、図書館には、設立当時から変わらない非常に良い空気が流れていると感じる。図書館のスタッフがその空気を作り出しているので、変わらずに良い空気を作ってほしい。

また、インターネット等の普及により、社会が多種多様になっているので、図書館の立ち位置も考えていかなければならない。

これから、2週間ほどカナダ・アメリカに行く。数年前訪ねたコロンビア大学図書館に衝撃を受けた。今回は、以前とどのように変わったか見てきたい。

6. 議 題 (司会：大橋委員長)

第1号議案 平成24年度図書館事業実績報告について

第2号議案 平成25年度図書館事業計画(案)並びに  
予算について

その他

7. 閉 会

## 議案第1号 平成24年度図書館事業実績報告について

### ◆塚主査説明

### ◆質疑について

#### ●粥川委員

図書館の本はどのような基準で購入されるのか？また、利用者のリクエスト等にも対応しているのか？

#### 事務局回答

購入については、図書館業務処理要領に基づき司書が選定。日版（本の取次業者）からの見計らい図書（新刊図書の一部が図書館に送られてくる）や、情報誌などから購入する本を決める。

リクエストも随時受けつけている。リクエストされた本が他の利用者にも利用されると判断した場合や、蔵書として必要と判断した場合は購入して対応。ただし、芸能人本などは、ブームが過ぎたら蔵書としての財産価値が下がるため、北海道立図書館などにリクエスト依頼することも多いのが現状。古い本や絶版となり購入できない本については、相互貸借（当館で所蔵していない図書を、北海道立図書館や道内各図書館から本を借受けて利用者に提供。当館から他館へ貸出す場合もある。）という制度を利用して対応している。

#### 大橋委員長

購入図書は司書が選定している。数年前、協議会の中で選書のしくみを見せてもらったが、微妙な選択もあり、実際本を選ぶのは難しいと感じた。

#### ●真籠教育長

学校からのリクエストはあるのか。

#### 事務局回答

先生からも子どもからもリクエストはある。マンガ以外は購入する方向で考えている。

#### ●今井委員

T P P問題、気候変動、原発などタイムリーな情報を紹介する機会はあるのか。

#### 事務局回答

以前は「新着図書案内」を発行していたが、現在は手回っていない。毎月テーマを決め「テーマ本の展示」をしているので、来館者には発信できているが、図書館を利用しない町民には発信できていないのが現状。

大橋委員長

以前は「図書館だより」も発行していたし、「広報別海」を利用して発信することになっていたと思うが・・・。

事務局回答

広報のスペースが減らされているので、図書情報の掲載は難しいのが現状。ホームページについても現在見直しているが、大幅な見直しには莫大なコストがかかるのが現状。コストをかけず利用されるホームページ作りを検討している。

●今井委員

お茶でも飲めるような場所があれば集客できるのでは？飲み物を有料にしても利用者にとっては利用する価値があるのではないか。

真籠教育長

飲食可能にすると、本が汚される可能性もあると思うが、それ以上の効果も期待できるのではないか。

事務局回答

今後に向けて検討したい。

## 議案第2号 平成25年度図書館事業計画（案）及び予算について

◆事業計画：堺主査説明

◆予 算：佐藤館長説明

◆質疑について

●大橋委員長

移動図書館の運転業務の委託は、人件費が安くなるからか？

事務局回答

運転業務を担う職員が減っているため。

●真籠教育長

図書館の業務実績を見て感じたこと。「職員が少ないから物事が進まない」という考え方はどうか。発想の転換が必要。今井委員の「今日初めて図書館に来て、別海にこんなに立派な図書館があったのか」というお言葉も、発想転換のヒントになるのでは？ 図書館を利用したことのない人にどう足を運ばせるか、発想の転換が必要。今のスタッフでできないなら、部分的にアウトソーシングする必要もあるのでは？

また、図書館のホームページは見られないと感じる。今日の協議会には色々な分野のスペシャリストが集まっているので皆のアドバイスをもらう場にした。

事務局回答

図書館の利用者カードは持っているが、図書館を利用しない、という人もいると思うので、今後もししたら人を呼べるのかを考えていきたい。

●大橋委員長

過去の協議会の中でも利用率を伸ばす工夫について協議したことがあるが、図書館は、地域の人材育成の場でもあるのだから、サービスが過剰になると人材が育たない可能性もある。別海町からノーベル賞受賞者を出すつもりになったら、利用実績ばかり重視しても無理ではないか？

図書館設立時は、図書館バス2台で地域の隅々まで巡回するという構想があったが、利用者ゼロの地域を巡回する必要はあるのか？ 社会の流れに図書館が謙る必要はないが、謙らないようなバランスで、図書館について話しあうのがベストではないか。

また、図書館を拠点としたボランティアの数や活動が活性化されるのも重要。

個人で図書館にかかわりたい人もいるのではないか。たとえば、ボランティアでホームページを作成してもらうなど。ただ中立性の問題で難しいのか。

●島崎委員

移動図書館車2台で「町内の隅々まで」という構想は？

大橋委員長

本来は図書館に来てもらうのが一番だが、来られない人に対するサービスを提供するためには「隅々まで」巡回するという発想。

島崎委員

移動図書館車の日程表を見ていると市街地のステーションが少ない。高齢化社会にあわせ、牛乳の日に公民館前に図書館バスを止めるという発想も必要では？

大橋委員長

図書館開館後、高齢者など自分で図書館に行けない人や、図書館がどこにあるのかわからない人のために、一部地域から図書館までのバスを運行したこともあるが、利用が少なく廃止になった経緯がある。最近の図書館バスの利用状況は？また新規利用者はいるのか？

事務局回答

固定客が多いのが現状。新規利用者は自衛隊地区が多い。

島崎委員

「バスで本を借りられる」ということを知らない人がいるのでは？

事務局回答

どれだけニーズがあるかを知る必要はあるが、難しいのが現状。

真籠教育長

町営バスの巡回コースに図書館を加えてみるということもできるのでは？

●粥川委員

飛行機の機内誌で、「絵本は与えるものでなく読み聞かせるもの」というコメントを読んだ。読書活動の中で「感動させる1冊」を経験させること大切ではないか。図書館や移動図書館車の利用者は読書の楽しさを知っている人。利用しない人は、感動する本などに出会っていない人。図書館が情報提供し利用者を発掘することが大切ではないか。

今井委員

今日初めて図書館に入ったが、図書館は違う世界に感じる。本屋にはよく行くが、本に引き寄せられる感じがする。本屋のような場所と理解してらうと利用しやすいかもしれない。雨の日にコーヒーなど飲めると良い。

真籠教育長

図書館もゾーンのようになっていれば良かったのだが・・・。中標津の図書館は文化会館と併設なので、多くの人に知ってもらえる。

大橋委員長

図書館建設の際、建設地について大議論があった。希望の場所の地価が高く断念した経緯がある。そこに建てられれば今の悩みはなかったかもしれない。

今井委員

大学を作れたら良い。「アカデミックな町別海」をめざして。

●大橋委員長

視聴覚室などの貸出しは？

事務局回答

現在は、図書館のボランティアサークルがイベント準備や練習等で使用している。

真籠教育長

そこにも発想の転換が必要。どんどん貸してもかまわないのでは？

大橋委員長島崎委員

周知する方法は色々あると思うが、図書館の雰囲気もある。開放して、今のスタッフで、この図書館の空気を持ちこたえられるのか？シビアなバックアップがないと厳しいのでは？

今井委員

講演会で町民が驚くような人を呼んでみてはどうか？海の人・山の人が図書館に集まって議論する場所を提供するのも面白いのでは？「グレードの高い田舎」をめざすべき。

真籠教育長

お金をかけなくてもできることはあるし、図書館が活性化すれば、人もお金もつくはず。